

# 2009年度決算説明資料

2010年 4月

 **三菱重工業株式会社**

# <目次>

## I . 2009年度決算実績

・2009年度決算実績 サマリー	4
・2009年度決算実績 セグメント別	5
・税引前利益増減要因	6
・経常利益・特別損益	7
・決算実績 セグメント別	
〈船舶・海洋〉	8
〈原動機〉	9
〈機械・鉄構〉	10
〈航空・宇宙〉	11
〈中量産品〉	12
〈その他〉	13
・貸借対照表	14
・キャッシュ・フロー, 有利子負債	15
・補足資料(1)	16
・補足資料(2)	17
<参考>	
[単独] 2009年度決算実績サマリー	18

## II . 2010年度業績見通し

・業績見通し サマリー	20
・業績見通し セグメント別	21

# I . 2009年度決算実績

---

# 2009年度決算実績 サマリー

(単位: 億円)

	'08年度	'09年度	増減
受注高	32,687	24,762	△ 7,924
売上高	33,756	29,408	△ 4,347
営業利益	1,058	656	△ 401
経常利益	753	240	△ 512
特別損益	△ 103	41	+145
税金等調整前 当期純利益	649	281	△ 367
当期純利益	242	141	△ 100

**受注高** ⇒ 対前年度 △7,924億円減少 (32,687億円 → 24,762億円)

中量産品部門の需要回復遅れ、受注品各部門の商談進捗遅れ、新興国等における受注競争の激化等により前年度を下回った。

**売上高** ⇒ 対前年度 △4,347億円減少 (33,756億円 → 29,408億円)

世界的な景気後退の影響を受け中量産品部門が大幅に減少した他、火力発電プラントを中心に原動機部門が減少したこと等により、前年度を下回った。

**純利益** ⇒ 対前年度 △100億円減益 (242億円 → 141億円)

売上の減少や円高の影響等により、営業利益、経常利益、純利益はいずれも前年度を下回ったものの、全社緊急対策「チャレンジ09」等 採算改善諸施策を実施し、年度首時点の見通しを上回る利益を確保した。

# 2009年度決算実績 セグメント別

(単位:億円)

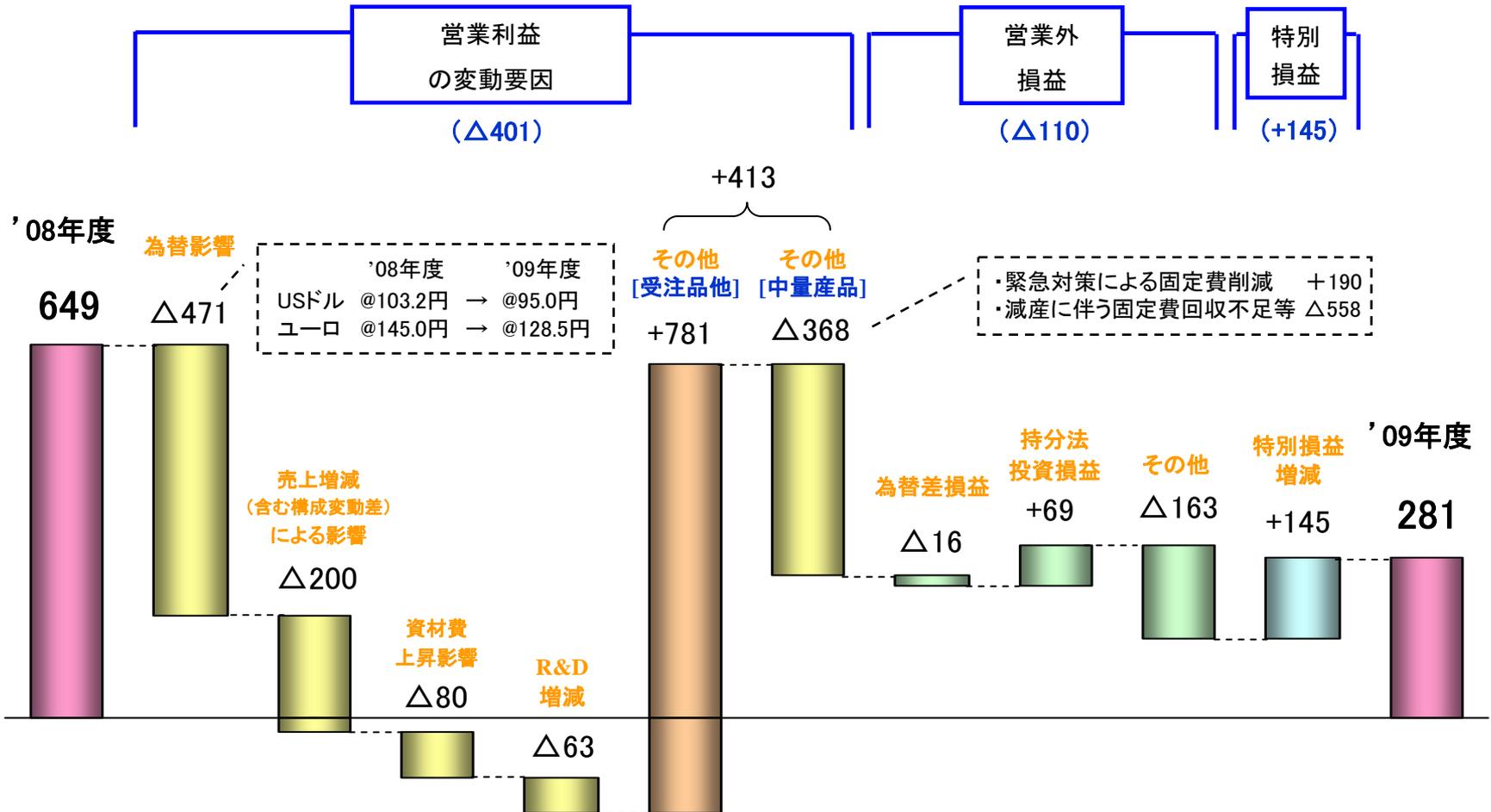
	受注		売上		営業利益	
	'08年度	'09年度	'08年度	'09年度	'08年度	'09年度
船舶・海洋	2,713	1,508	2,401	2,306	16	145
原動機	11,488	9,822	12,091	10,661	800	826
機械・鉄構	5,278	3,238	5,422	5,420	316	301
航空・宇宙	5,108	4,355	5,123	5,002	△ 103	△ 64
汎特 冷熱 産機	4,393	2,908	4,327	2,863	△ 13	△ 232
	1,862	1,383	1,875	1,373	△ 24	△ 99
	1,413	1,121	1,850	1,206	△ 31	△ 294
中量産品	7,670	5,413	8,054	5,443	△ 70	△ 626
その他	990	821	1,211	1,101	99	74
消去または共通	△ 562	△ 397	△ 547	△ 527	-	-
合計	32,687	24,762	33,756	29,408	1,058	656

## 【報告セグメントの変更について】

'10年度より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用に伴い、報告セグメントを一部変更するが、'09年度決算実績までは上表のとおり、従来(変更前)のセグメントで開示する。

# 税引前利益増減要因

対前年度  $\Delta 367$  億円減少 ( 649 億円  $\rightarrow$  281 億円 )



# 経常利益・特別損益

## ・経常利益 (対前年度 $\Delta$ 512億円(753億円 $\rightarrow$ 240億円))

(単位:億円)

	'08年度	'09年度	増減
<b>営業利益</b>	1,058	656	$\Delta$ 401
為替差損益	12	$\Delta$ 4	$\Delta$ 16
金融収支	$\Delta$ 60	$\Delta$ 156	$\Delta$ 96
持分法投資損益	$\Delta$ 90	$\Delta$ 20	+69
その他	$\Delta$ 167	$\Delta$ 234	$\Delta$ 67
<b>営業外損益</b>	$\Delta$ 305	$\Delta$ 416	$\Delta$ 110
<b>経常利益</b>	753	240	$\Delta$ 512

## ・特別損益 (対前年度 +145億円( $\Delta$ 103億円 $\rightarrow$ 41億円))

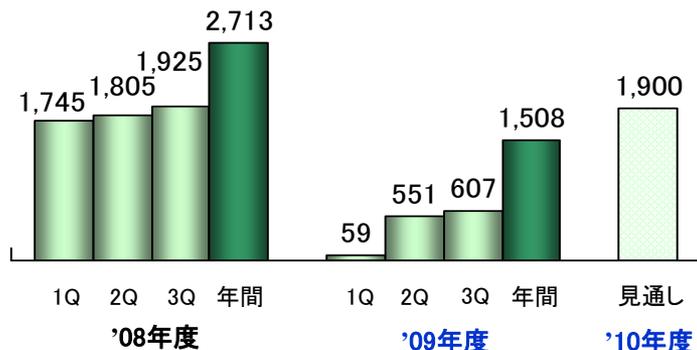
(単位:億円)

	'08年度	'09年度	増減
・固定資産売却益	39	100	+61
・投資有価証券売却益	142	50	$\Delta$ 92
・退職給付信託設定益	361	-	$\Delta$ 361
・退職給付制度改定益	-	49	+49
<b>特別利益</b>	543	201	$\Delta$ 342
・棚卸資産会計基準の適用に伴う影響額	$\Delta$ 334	-	+334
・係争関連損失	$\Delta$ 208	-	+208
・事業構造改善費用	$\Delta$ 104	$\Delta$ 159	$\Delta$ 55
<b>特別損失</b>	$\Delta$ 647	$\Delta$ 159	+487
<b>特別損益</b>	$\Delta$ 103	41	+145

# 〈船舶・海洋〉

(億円・各期の数値は累計)

## 受注



## 受注 : 対前年度 $\Delta 1,204$ 億円の減少

- 世界の造船需要が依然として低迷を続ける中、得意とする高付加価値船を中心に受注活動を展開したが、海上保安庁向け巡視艇7隻他 合計13隻を受注するにとどまった。

### 【受注隻数】

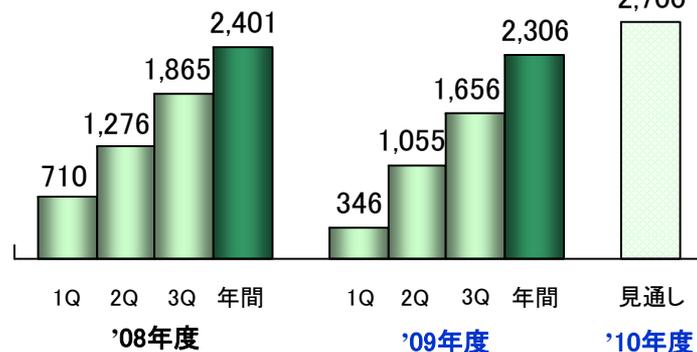
'08年度 : 18隻 (1Q: 16隻, 2Q: 0隻, 3Q: 0隻, 4Q: 2隻)

'09年度 : 13隻 (1Q: 0隻, 2Q: 6隻, 3Q: 0隻, 4Q: 7隻)

### 【契約残隻数】 59隻

(コンテナ船14隻, 自動車運搬船13隻, 巡視艇7隻, LPG船5隻 他)

## 売上



## 売上/損益 : 対前年度 $\Delta 94$ 億円/ $+129$ 億円の減収増益

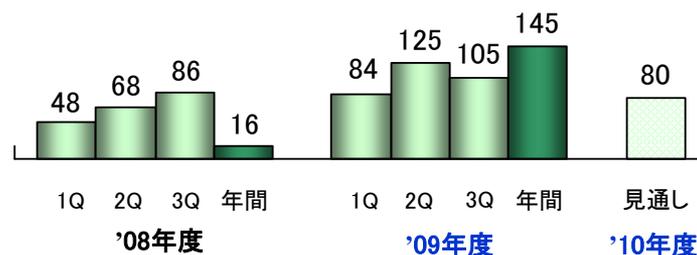
- 当年度は自動車運搬船11隻、LPG船5隻、LNG船、巡視艇各2隻の合計20隻を引き渡した。

### 【引渡隻数】

'08年度 : 23隻 (1Q: 5隻, 2Q: 3隻, 3Q: 5隻, 4Q: 10隻)

'09年度 : 20隻 (1Q: 3隻, 2Q: 4隻, 3Q: 5隻, 4Q: 8隻)

## 営業利益

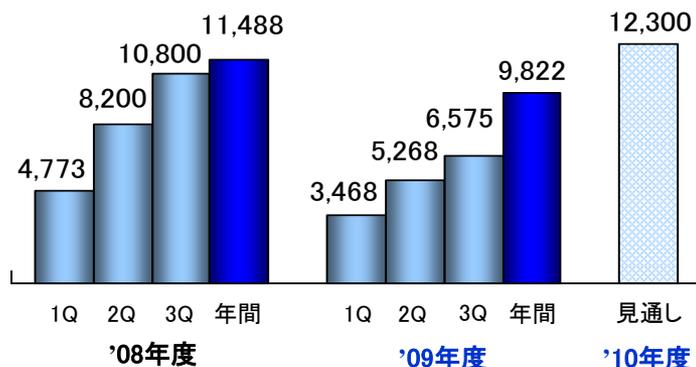


- 損益は為替円高の影響等を受けたものの、採算改善が進捗し、また、前年度に引当てた将来の損失について、見積の前提条件の変動に伴い引当額を見直したこと等により、前年度から増益となった。

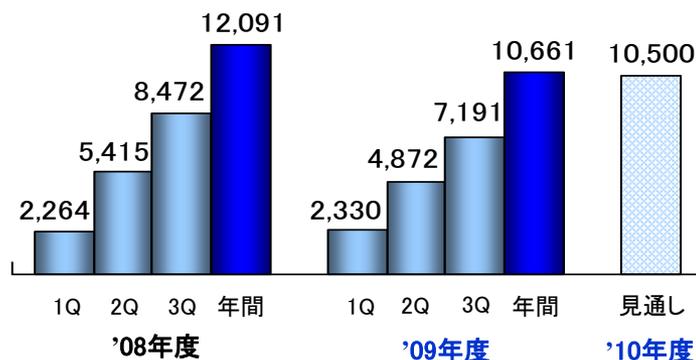
# 〈原動機〉

(億円・各期の数値は累計)

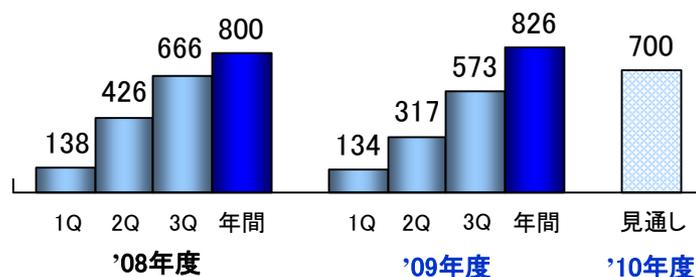
受注



売上



営業利益



## 受注 : 対前年度 $\Delta 1,665$ 億円の減少

- 国内では、大型火力発電プラントを受注した他、既納プラントの改良・改造・修理工事も堅調に推移した。
- 海外では、インドネシア向け大型火力発電プラント等を受注したものの、電力需要の低迷で商談が減少し、競争も激化したため、火力発電プラントの受注は減少した。

### 【風車受注 (出力ベース)】

'08年度 : 受注 963MW (1Q:900MW, 2Q: 0MW, 3Q: 63MW, 4Q: 0MW)  
 キャンセル  $\Delta 1,094$  MW  
 '09年度 : 受注 0MW (1Q: 0MW, 2Q: 0MW, 3Q: 0MW, 4Q: 0MW)

### 【ガスタービン契約残台数 (単独)】

'08年度 : 1Q:77台, 2Q:77台, 3Q:71台, 4Q:66台  
 '09年度 : 1Q:70台, 2Q:67台, 3Q:53台, 4Q:50台

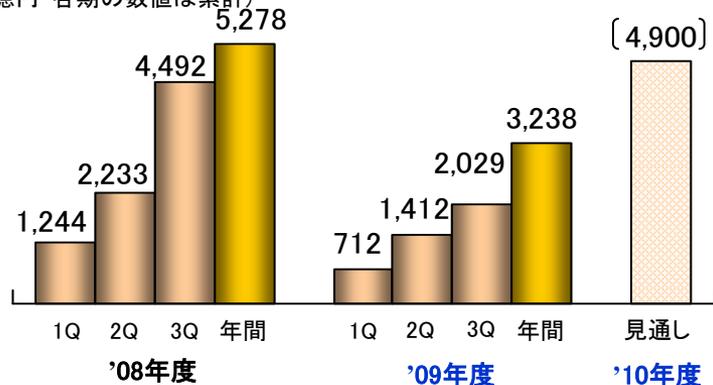
## 売上/損益 : 対前年度 $\Delta 1,430$ 億円 / $+26$ 億円の減収増益

- 売上は火力発電プラントや風車が減少し、前年度を下回った。
- 損益は、売上の減少や為替円高の影響を受けたものの、既受注プラント工事が順調に進捗したことや、アフターサービス工事も堅調であったことにより、前年度を上回った。

# 〈機械・鉄構〉

(億円・各期の数値は累計)

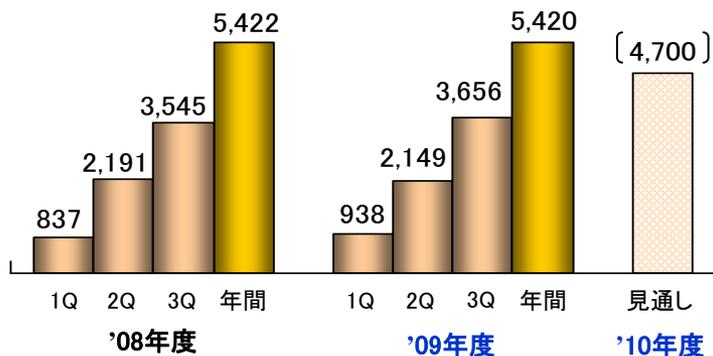
受注



## 受注 : 対前年度 $\Delta 2,040$ 億円の減少

・海外の大型案件を中心に 積極的な受注活動に取り組んだものの、顧客の設備投資計画見直しに伴う案件の繰り延べ等により、化学プラントや製鉄機械等の受注が減少し、料金機械、運搬機械等、一部の製品は増加したが、全体でも前年度を下回った。

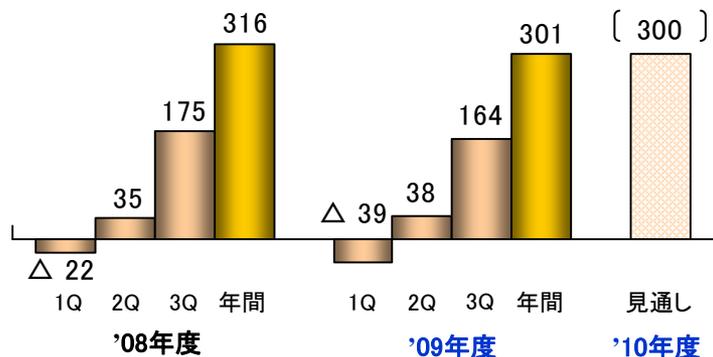
売上



## 売上/損益 : 対前年度 $\Delta 1$ 億円/ $\Delta 14$ 億円の減収減益

・売上は大型化学プラント、製鉄機械等で 工事が順調に進捗し、前年度並となった。損益も年度を通して、前年度と同水準で推移した。

営業利益

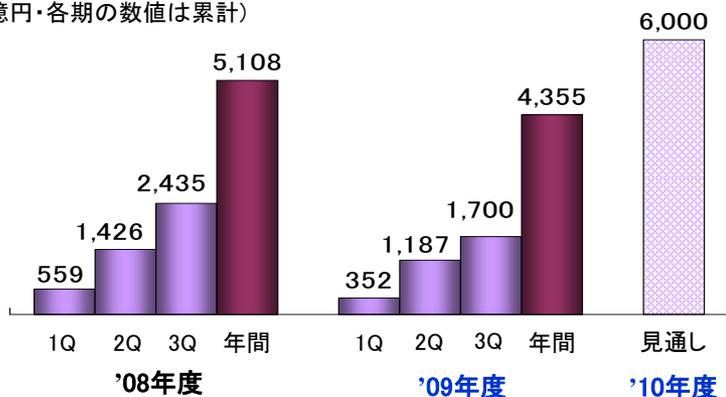


[ ]内に表示している'10年度見通しは、報告セグメント変更前の値(参考値)

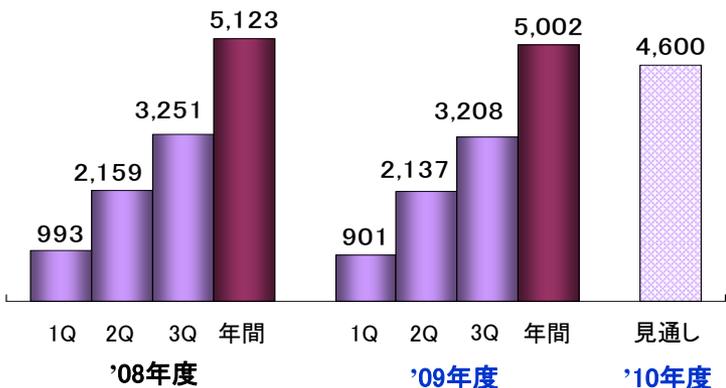
# 〈航空・宇宙〉

(億円・各期の数値は累計)

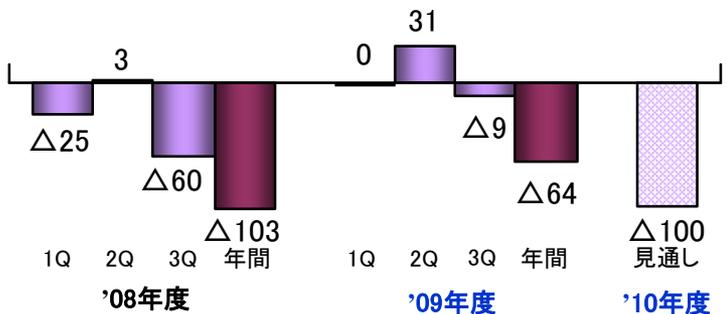
受注



売上



営業利益



## 受注 : 対前年度 △753億円の減少

・宇宙関係は、H-II Aロケットの打上げ輸送サービスの増加等により前年度を上回った。一方で、防衛関係は、誘導飛しょう体の減少等により前年度を下回り、また、民間機関係も、世界的な景気後退の影響を受けた航空機需要の低迷を背景に、B787、B777を中心とした民間航空機や、民間航空機用エンジン部品が減少し、前年度を下回った。

## 売上/損益 : 対前年度 △120億円/+39億円の減収増益

・売上は、民間機関係および宇宙関係は増加したものの、防衛関係が減少したことにより、前年度をやや下回った。

### 【B777 引渡機数】

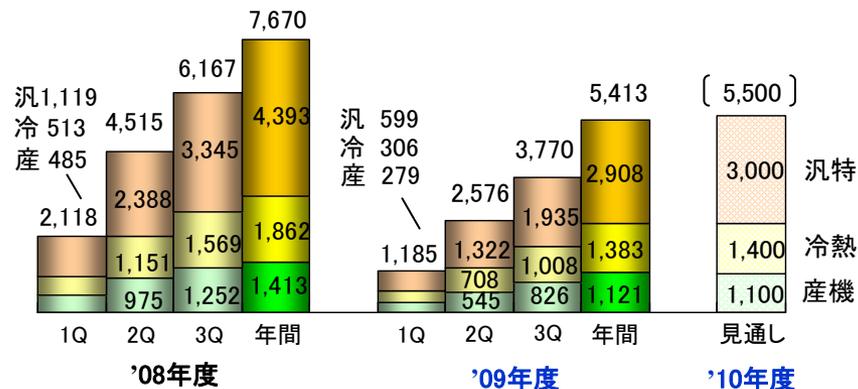
'08年度: 67機 (1Q:21機, 2Q:21機, 3Q: 4機, 4Q:21機)  
'09年度: 82機 (1Q:21機, 2Q:21機, 3Q:19機, 4Q:21機)

・損益は、前年度に比べ為替レートが円高で推移し 減益要因となったが、民間航空機の採算改善等により前年度から赤字幅が縮小した。

# 〈中量産品〉

(億円・各期の数値は累計)

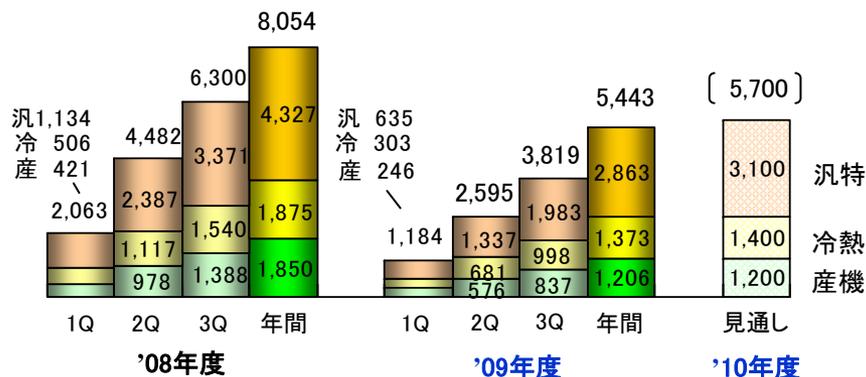
受注



## 受注: 対前年度 $\Delta 2,256$ 億円の減少

- ・汎特 フォークリフトの販売会社統合による国内販売体制強化や、新興国市場への拡販活動等を実施したが、フォークリフトや中小型エンジン等で需要低迷が続き、前年度を下回った。
- ・冷熱 海外では、欧州を中心に需要が低迷したパッケージエアコンやルームエアコンが減少。また、国内でも自動車販売台数の落ち込みに伴う顧客の減産等の影響によりカーエアコンが減少した。
- ・産機 国内で新聞用輪転機の大型案件があったものの、印刷機械が前年度を下回ったほか、工作機械も自動車関連産業を中心とする需要低迷の影響を受け減少した。

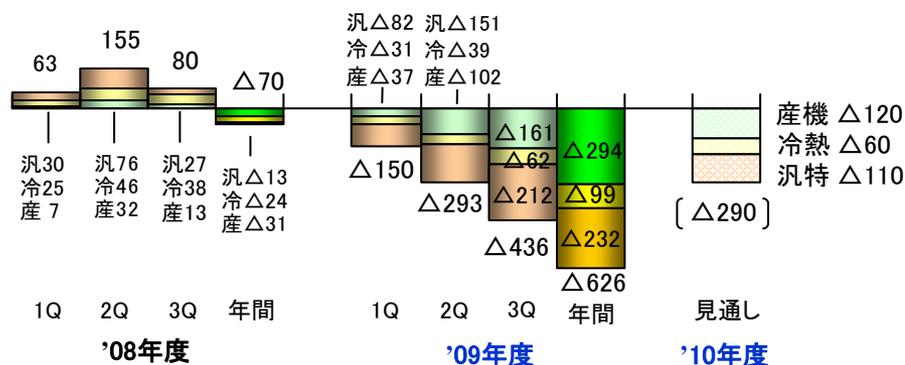
売上



## 売上/損益 : 対前年度 $\Delta 2,610$ 億円/ $\Delta 555$ 億円の減収減益

- ・売上規模の大幅な縮小を受け、全社的な緊急対策を実施し、固定費削減等の採算改善効果があったものの、減産に伴う固定費回収不足や円高の進行による影響等により、前年度から大幅に悪化した。

営業利益

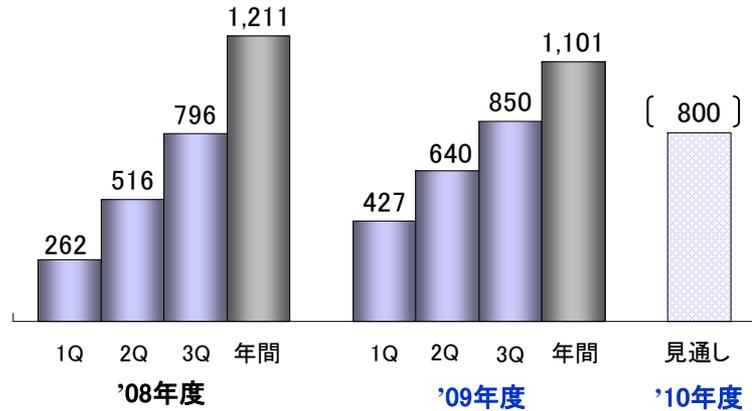


[ ]内に表示している'10年度見通しは、報告セグメント変更前の値(参考値)

# 〈その他〉

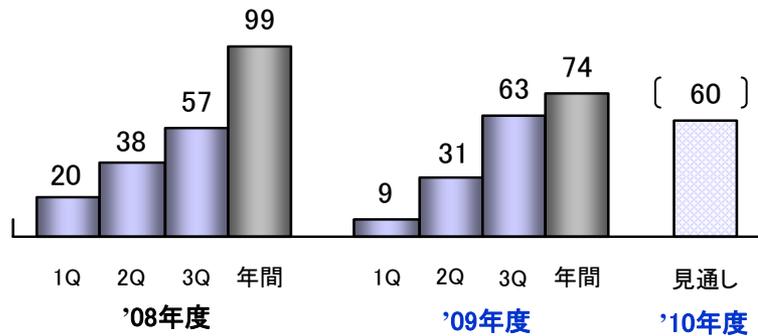
(億円・各期の数値は累計)

売上



・不動産・建設  
・情報・通信サービス  
他

営業利益



[ ]内に表示している'10年度見通しは、報告セグメント変更前の値(参考値)

# 貸借対照表

(単位: 億円)

	'08年度末 ( '09.3.31 )	'09年度末 ( '10.3.31 )	増減	
<b>資産の部</b>				
売上債権	10,825	9,482	△1,343	
たな卸資産	12,686	12,400	△285	
その他流動資産	8,138	6,384	△1,754	うち現金・預金 △1,609
流動資産計	31,650	28,266	△3,383	
固定資産計	13,611	14,361	+750	
<b>資産合計</b>	45,262	42,628	△2,633	
<b>負債の部</b>				
買入債務	6,996	6,465	△531	
前受金	4,790	3,890	△899	
その他流動負債	8,162	5,202	△2,960	うち有利子負債 △2,390
流動負債計	19,948	15,557	△4,390	
固定負債計	12,480	13,782	+1,302	うち有利子負債 +1,215
<b>負債合計</b>	32,429	29,340	△3,088	
<b>純資産の部</b>				
株主資本	12,534	12,647	+112	
評価・換算差額等	△118	133	+251	
その他(少数株主持分他)	416	507	+90	
純資産合計	12,832	13,287	+455	
<b>負債及び純資産合計</b>	45,262	42,628	△2,633	

# キャッシュ・フロー, 有利子負債

## キャッシュ・フロー

(単位: 億円)

	'08年度	'09年度	増減
営業CF	795	1,179	+384
投資CF	△ 1,565	△ 1,807	△ 241
フリーCF	△ 770	△ 627	+143
財務CF	2,620	△ 1,052	△ 3,672

## '09年度の概要

- ・営業キャッシュ・フローは、原動機、航空・宇宙で売上債権の回収が進んだことや、棚卸資産の圧縮に努めたこと等により、前年度から 384億円増加し、1,179億円となった。
- ・投資キャッシュ・フローは、設備投資が引続き高水準にあり △1,807億円となった。前年度との対比では、株式の売却収入が減少したこと等により241億円マイナス幅が拡大した。
- ・この結果、フリー・キャッシュ・フローは △627億円となった。(前年度からは 143億円マイナス幅が縮小)

## 有利子負債

(単位: 億円)

	'08年度末 ('09.3.31)	'09年度末 ('10.3.31)	増減
有利子負債	16,128	14,953	△ 1,175

# 補足資料(1)

## 1. 為替レート

(¥/US\$)

年度	'05年度		'06年度		'07年度		'08年度		'09年度	
	(中間)	(年度)	(中間)	(年度)	(中間)	(年度)	(2Q)	(年度)	(2Q)	(年度)
売上計上平均レート	109.5	111.3	113.7	114.9	116.9	114.6	107.9	103.2	97.6	95.0
(参考)期末日レート	113.2	117.5	117.9	118.1	115.4	100.2	103.6	98.2	90.2	93.0

## 2. 研究開発費

(単位:億円)

年度	'05年度	'06年度	'07年度	'08年度	'09年度
研究開発費	1,007	1,063	1,079	1,013	1,292

## 3. 減価償却費・設備投資

(単位:億円)

年度	'05年度	'06年度	'07年度	'08年度	'09年度
減価償却費	1,008	1,067	1,292	1,538	1,404
設備投資	1,405	1,759	1,914	1,966	1,771

# 補足資料(2)

## 4. 人員

(単位:人)

年度	'05年度	'06年度	'07年度	'08年度	'09年度
(連結) 船舶・海洋	5,388	5,285	5,196	5,035	4,969
原動機	14,218	15,070	15,978	17,296	18,633
機械・鉄構	8,998	8,246	7,662	7,635	7,570
航空・宇宙	7,712	8,211	8,724	9,231	9,679
中量産品	16,930	17,032	17,489	19,005	17,777
その他	8,966	9,096	9,054	9,214	9,041
合計	62,212	62,940	64,103	67,416	67,669
(単独) 合計	32,627	32,552	33,089	33,614	34,139

## 5. 海外地域別売上高

(単位:億円)

年度	'05年度	'06年度	'07年度	'08年度	'09年度
(連結) 北米	3,225 (26%)	3,718 (25%)	4,358 (28%)	4,140 (25%)	3,601 (24%)
中南米	1,085 (9%)	1,237 (9%)	2,229 (14%)	2,261 (14%)	1,847 (13%)
アジア	5,224 (42%)	4,374 (30%)	4,522 (29%)	4,391 (27%)	3,907 (26%)
中東	572 (5%)	2,578 (18%)	1,688 (11%)	2,300 (14%)	1,707 (12%)
欧州	1,828 (15%)	2,374 (16%)	2,588 (17%)	2,962 (18%)	2,233 (15%)
その他	322 (3%)	343 (2%)	224 (1%)	466 (2%)	1,489 (10%)
合計	12,259 (100%)	14,626 (100%)	15,611 (100%)	16,522 (100%)	14,786 (100%)

## <参考> [単独]2009年度決算実績サマリー

(単位:億円)

	'08年度	'09年度	増減
受注高	24,627	19,387	△ 5,239
売上高	26,472	23,277	△ 3,194
営業利益	569	471	△ 98
経常利益	468	200	△ 267
特別損益	163	18	△ 145
税金等調整前 当期純利益	632	219	△ 412
当期純利益	448	184	△ 264

## Ⅱ. 2010年度業績見通し

---

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

# 業績見通し サマリー

(単位:億円)

	'09年度 (実績)	'10年度 (見通し)
受 注 高	24,762	31,000
売 上 高	29,408	28,500
営 業 利 益	656	750
経 常 利 益	240	350
当 期 純 利 益	141	200

◇未確定外貨に係る為替レートは1ドル=@¥90、1ユーロ=@¥130の前提  
(未確定 40億ドル、5億ユーロ)

# 業績見通しセグメント別 (セグメント変更後)

(単位:億円)

	受注		売上		営業利益		
	'09年度 (御参考)	'10年度 見通し	'09年度 (御参考)	'10年度 見通し	'09年度 (御参考)	'10年度 見通し	
船舶・海洋	1,508	1,900	2,306	2,700	145	80	
原動機	9,822	12,300	10,661	10,500	826	700	
機械・鉄構 ※	4,043	5,700	6,257	5,500	30	180	
航空・宇宙	4,355	6,000	5,002	4,600	△ 64	△ 100	
汎用機・特殊車両 ※	2,910	3,000	2,868	3,100	△ 232	△ 110	
その他 ※	冷熱	1,384	1,400	1,374	1,400	△ 99	△ 60
	工機・その他	1,134	1,200	1,468	1,200	51	60
消去または共通	△ 397	△ 500	△ 532	△ 500	-	-	
合計	24,762	31,000	29,408	28,500	656	750	

## 【報告セグメントの変更について】

- 「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用及び、当社組織の再編に伴い'10年度業績より報告セグメントを右図の通り変更する。
- 表中に表示している'09年度(御参考)は、決算実績を変更後のセグメントに合わせて組替えたもの。

## 【変更前】

機械・鉄構	
中量 産品	汎特
	冷熱
	産機
その他	

## 【変更後】

機械・鉄構	
汎用機・特殊車両	
その他	冷熱
	工機・その他

船舶・海洋、原動機、航空・宇宙は変更なし